

2016年6月16日

舛添要一東京都知事辞任表明に関する談話

連合東京

事務局長 杉浦 賢次

舛添要一東京都知事は、昨日都議会議長に辞職願を出し、同日の都議会本会議で同意されました。

連合東京として支持・支援した都知事が二代続けて金銭問題でこのような状況に陥ったこと、大変残念な結果であり、遺憾であります。

このことに対し、各構成組織、連合地域組織の皆様にご迷惑をおかけしたことに心よりお詫びを申し上げます。

連合東京が舛添氏を支持・支援した経緯を振り返れば、連合東京結成以来25年間経過する中で都知事との関係が築くことができず、我々の運動の大きな柱の一つである、政策制度要求実現が都政に活かされない状況があり、その意味で我々が支援する都知事を実現すべきと考えてきました。そうしたことから当時、連合東京と民主党は候補者選定に向け連携を取りながら進めていましたが、様々な議論の結果、最終的には『政策制度要求が実現するための「政策協定」を結べる候補者を支援する』ことで舛添要一氏の支援を決定しました。

その後、舛添都知事が誕生し、連合東京の政策は過去に類を見ないほど都政の中でスピーディーに実行されましたし、公労使会議の開催や非正規雇用から正規雇用への転換、雇用分野については連携し、取り組んできたところであります。その意味で当時の判断としては舛添氏の支持・支援は、決して間違いではなかったと判断いたします。

しかし、今回の一連の舛添都知事の対応については、断固として許すことができませんし、信頼を失ったリーダーは都知事にとどまるべきではないと考えている中での、今回の辞任でありました。

今後、都知事選が早々に行われますが、連合東京は民進党東京都連、連合本部と密接な連携を取りながら「安心して東京で働き、暮らせる都政づくり」に向けて、取り組みを進めていくこととします。

以 上